



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2020～2021年度 RI会長 ホルガー・クナーケ
RIテーマ ローターは機会の扉を開く

クラブテーマ「思いはひとつ」

会長 加藤正幸

副会長 米山晴敏 幹事 服部光弥

第1474回 例会
2021.5.7(金)雨

司会 大庭靖貴君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 加藤正幸君



ゴールデンウィークいかがお過ごしでしたか？東京都は緊急事態宣言が出てても関東圏より大吊り橋や酪農王国オラッチェなどの地元の観光地が酷く混んでました。私の会社は土日だけの休みなのであまり関係ありませんでした。ただ、5月2日(日)に伊豆国際へゴルフに行ってきました。もの凄い風でバターで芝目を読むのと合わせて風の向きも読まなければならない・・・という体験をしてきました。もうこんな日にゴルフはしたくありません。

5月3日(祭日)楽寿園にて東日本震災の支援の為の岩手県山田町の海産物の直売所へ行ってきました。三島市と山田町は当時、市職員を派遣するなど強い繋がりがありました。この関係で6年間、楽寿園にて直売イベントを続けています。今年、コロナの時節柄、開催を危ぶまれましたが昨年中止の為、今年は何とか楽寿園の御好意もあり開催できました。私の知り合いの会社の露店許可証で合同で開催しました。かなりのリスクがあるので心配していましたが、無事に終わったようです。三島市と山田町は10年経っても何かの形で繋がっている事に共感できます。

当クラブも、大槌町との繋がりに始まり今年はやまねこ学舎の主催イベントにオブザーバ.として参加したり大震災に関してこれからも何かの形で参加できたらと思います。ゴールデンウィークの過ごし方から震災の話になってしまいました。

話が変わって・・・

「三島市が転入超過で県内1位」

転入者から転出者を引いた2020年の転入超過数は、三島市が県内で最も多かったことが分かった。新型コロナウイルスの影響などが理由に考えられ、市は引き続き移住定住策に力を入れる。という記事が新聞に取り上げられていました。地元の三島市がこのような結果が出たことが非常にうれしいことだと思います。

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	24/32	75.00%	251/32	78.10%
今回	23/31	74.20%	会員総数	33名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、田中君、土屋君、中本君、原君、山口(雅)君、山田君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者 片野君、中村君)

おめでとう

会員誕生日 4月28日 遠藤 修弘君



幹事報告

幹事 服部光弥君

◎ 次週5月14日はクラブ協議会を開催します。

中村細則委員長より皆さま宛にメールやfaxにて細則等に関する資料が配信されますのでよろしくお願いいたします。

地区研修・協議会報告

会長エレク

米山 晴敏君

RLI運営委員会

原 兄多君

YouTubeで参加しました。

2021～2022年度シエカル・メータ・次年度RI会長のテーマ『奉仕をしよう みんなの人生を豊かにするために』です。スピーチの中で色々なキーワードが出てきました。『奉仕をする時、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。』『奉仕とは自分がこの地球に占める空間に対して支払う家賃です。』と言っていました。中でも協調したのは『もっと成長しよう、もっと行動しよう。』でした。

それに合わせて2620地区小林次年度ガバナーのテーマは『新たな時代を生きるロータリー』です。

そして、地区運営方針・地区運営重点活動・地区戦略計画・会員負担金・クラブ要請事項が発表され、承認されました。

理解が出来なかったところがあります。

まだ、自分は未熟だと思い、その時、薩摩かるたの一説を思い出しました。

いしえの道を聞いても、唱えても、我が行にせずば、かひなしでした。自分より多くのRC経験者やRC先輩の話をよく聞いて、それを自分のものにする為に、もっとロータリーを知らなければならぬと思いました。

研修内容については、これから話す機会があると思いますので、しっかりと理解したところで、お話しさせていただきます。

次年度の地区の目標に、RLIを実施し、研修機会を増やし、それぞれのクラブにおいてRLI方式での研修を推進するよう推奨する、とあります。

RLIとは、ロータリーリーダーシップ研究会の略ですが、目的は何か？どのような研修か？等の説明がありました。

目的は文字通り各個人がリーダーシップを発揮することですが、具体的にはディスカッション能力の向上を主目的としています。

ディスカッション能力を向上させるべく、従来の講演型の聞く研修から、ディスカッションを通じロータリーのことを学ぶ参加型の研修を行います。

当クラブにおいても、次年度はRLI委員会が新設される予定です。

まずは、私をはじめ数人でRLIについて学び、参加し、皆さんにご紹介したいと思います。

公共イメージ向上委員会

遠藤 修弘君

ナマステ。ユーチューブで行われた、今回の地区研修会、自分として、大変良かったという印象です。なぜなら、1つ目は、資料を事前にいただけたこと。2つ目は、後からでも数日間限定で見直すことができたこと。3つ目は、移動時間がなく、さらに自分の関係する時間帯に合わせることができ、時間調整しやすかったこと。こういった状況で研修を受けられたからです。特に数日間その研修が見れたということは、大変よかったですと感じています。会場で立ち会っての1度限りでの研修ですと、聞きもれてしまったり、メモを取っている間に次の話になってしまったりと、本筋とずれて理解することもあります。その点、今回は新年度に展開していく公共イメージ向上委員会の内容が理解できましたし、どうクラブに落とし込んでいこうか、と委員会の年間計画を作成しやすくなったと感じました。

この研修では、公共イメージ向上・IT委員会として、地区目標を6項目掲げられました。

- 1、川柳募集・ロータリーのイメージアップにつながる川柳を募集して静岡新聞に月1回、山梨日日新聞に月4回掲載。例「友愛はYOUとIからロータリー」
 - 2、マイロータリーの登録率80%を目指す。
 - 3、ロータリークラブセントラル活用率100%を目指す。
 - 4、デジタルネット構築推進。
 - 5、地区HPの活用(各委員会、クラブの活動を地区ホームページへ掲載しPR)
 - 6、デジタル部会(・地区、クラブでのネット会議活用クラブにZoom研修を行う。・フェイスブック、インスタグラムなどのSNSを使い情報発信していく・グループ毎に2名配置される)
- です。以上の目標に対して、せせらぎ三島ロータリークラブの公共イメージ向上委員会として具体的どのように取り組んでいったらいいのか、決めていきたいと思います。

会員増強・維持委員会

服部 光弥君

本年度「Each ONE, Bring ONE」[ひとりが一人を]をテーマとしてクラブ全体で「せせらぎ三島RCのファン」を増やし、奉仕参加者の基盤を拡げる機会を創造していきます。そのためには皆様から多くの情報をご提供いただくこととなりますが、どうかよろしくお願ひいたします。

クラブ奉仕委員会

小林 勝君

RI会長シエカル・メータ氏のテーマ講演の中で、私達ロータリーの会員は地域のリーダーでなければならぬ。又、リーダーとは希望を与え、ビジョンを持たなければならぬと言っていました。ビジョンとは人よりも一歩先を見つめ、そこに目標を定め準備する事とも言っていました。例として、ウォルト・ディズニーが1匹のネズミを見てミッキーマウスを思いつき、ミッキーマウスからビジョンを築き上げディズニー帝国を作ったそうです。

私達は、共有するロータリーのビジョンに導かれながら、大きな夢に向かって行動しましょう。

職業奉仕委員会

山口 雅弘君

YOUTUBEでの地区大会は初めての経験でした。小林ガバナーエレクのお話から今まさに、これまでのやり方を根底から問われロータリーも変えるべきは変えながら新しい社会での幸福の追求をしていく過程を歩み始めたのだと感じました。変化を助走として郷愁にこたえてばかりいられない大きな変化の時期にさしかかり、更には終息が全く見られないコロナ禍の中、誰もが漠然とした不安の中に生活しています。コロナはロータリーに根源的な問いを投げかけています。コロナが終息した世界は元には戻れないとWHOのテドロス事務局長の発言はまさにロータリーも同じで、クラブを新しくしていく必要に迫られているのだと思います。

「ロータリーは本当に今のままでいいのか？」

「クラブは本当に会員の力になれるのか？」

「世界や地域に何が出来るのか？」を問いかけ、会員が結束していかなければなりません。会員増強や拡大に新たな視点で、若い世代会員の新しいクラブの創設など大きな変化を迫られていると感じました。

今回の地区研修はオンラインにて開催されました。オンラインでの発信となるとある意味、発信者側の一方通行になりやすいのであとは受け取る側がどう風を受け止めるかだと思います。一人で長い時間、画面に向き合うため、僕は内心、ダラダラしてしまいそうだと思っていたのですが、テキストを手元に報告書をあげなければならないという義務感からなのか、けっこう真剣に聞き入ってしまいました。オンラインって実は少し否定的だったのですが、これはこれで有りだなと改めて思いました。なかでも特に印象的だったのが、次年度国際ロータリー会長シェカールさんの演説でした。彼は、目標と計画を立てて、それを確実に実行していくタイプのように例年以上に力強さと熱意を感じました。それは正に新しい風が吹き変革の時期をも予感させるものであります。

『みんなの人生を豊かにする』という大きな目標を掲げそれを実現するためにセクションごと計画配分を設け如何に実行していくかを求められているのでしょうか。確かにこの調子でやっていたら彼が唱える世界の会員120万人を130万人に増やしていくことも可能なかもしれません。

厳しいコロナ禍の時代でもこうやれば、こんなことができるんだということを学んだ研修となりました。

このような具体的計画案と実践力を社会奉仕委員会としても大いに取り入れ実行していきたいです。

伊丹 雅治君

小林ガバナーエレクトの次年度方針説明ですが、タイトルは「新たな時代を生きるロータリー」ということで、時代の変化に対応していきましようとお話しされていました。

まず最初に触れていたのが、お金や地位など目に見えるものが財産だった時代から(土の時代)、人脈や情報、豊かさなど目に見えないものが財産となる時代(風の時代)に大きく変わり、それが今後200年続くというお話でした。また、SDGs(持続可能な開発目標)や脱炭素社会といったキーワードを並べ次世代に負担を押し付けない社会を目指そうという考えはロータリーも同じですと語られておりました。

また「会員増強・拡大に新たな視点を」という話では、「維持も増強のうち」の考え方を入れているとお話になっていました。この考え方はあらゆる組織にも取り入れた方がいい発想だと印象に残りました。

思考の4分類という話では「参加型思考」の大切さを説いており、多様な分野の人々との交流を通じ、社会課題を解決することを目標の一つと掲げていましたが、せせらぎ三島ロータリーでも既実践されていることでありますので誇らしく思いました。

最後に、これからの組織論ではロータリーのビジョンや価値観を発信しながら外部と共創できる環境を整えることの重要性を求めていってほしいとしました。

繰り返しになりますが、小林ガバナーエレクトの次年度方針は、変化の激しい新しい時代を生き抜くために必要な考え方であると感じました。



スマイルボックス

鈴木俊也君:皆さん積極的にスマイルしましょう。スマイルします。

岡良森君:4月30日三島総合病院でPCR検査を受けて来ました。陰性でした。時間は予約式ドライブスルー式約10分でした。税込み25000円でした。

石井司人君:早退します。

4月25日YouTubeライブ配信にて参加しました。

初めての開催でしたが、時間が自由に使える点、関心のある部分に集中できる点、メリハリがつく点等良い部分のある協議会であったと感じました。

国際奉仕の観点では、次年度もカンボジアへの井戸建設支援を考えておりますが、これまでの地区補助金だけでなく、グローバル補助金の申請への検討が必要との内容がありました。様々なハードルがあると思いますが、次年度におきましてはその辺りも関心をもって協議していきたいと考えています。

高村 勝則君

今回、私は初めて地区研修及び協議会に参加させて頂きました。正直、奉仕の事やロータリークラブを何かというものをまだまだ理解していない自分と今回の参加形式がユーチューブという事もあり仕事をさせて頂きながら少し遠目で参加させて頂いておりました。

とても勉強になったことは奉仕という目標を立て、プロジェクトを組み、それに向けて行動をおこして、結果を求めていく事は会社経営や人生設計にも似ているなと思いました。まだまだ分からないことばかりですが、このクラブで勉強させて頂きながら、少しでも奉仕活動のお手伝いのできればと思います。

第11回理事会報告

日時 2021年5月7日(金) 19:20~19:50
 場所 呉竹
 出席者 加藤、米山、小林、大庭、大村、藤川、仲原、篠木、宮澤、服部、オブザーバ土屋・杉山

* 会長あいさつ

5月第1例会大変お疲れさまでした。よろしくお願ひいたします。

1・議題

①プログラム変更の件 (プログラム) 変更無し

②次年度プログラム(例会)の件

(次年度) 次年度例会を36回(月3回)とする。

コロナ禍での不安定な例会開催を少なくして事業費に充当する。それによって奉仕活動を増やしクラブイメージアップを図り仲間を増やしたい。 ⇒ 承認

2・連絡依頼報告事項

①家族会(さよなら例会)の件

会場変更をして家族会としての「さよなら例会」を計画していたが、この状態では不可能なため断念し、通常通り呉竹での開催とする。

②会長幹事会報告

4クラブ会長幹事会において「事務局移転」の方向で話が進んでいる。